

学校文法では活用の種類は5種類あり			日本語文法では
五段活用	「ない」を付けると直前がア段音	書く、飛ぶなど	Iグループ
上一段活用	「ない」を付けると直前がイ段音	起きる、見るなど	IIグループ
下一段活用	「ない」を付けると直前がエ段音	食べる、寝るなど	
カ行変格活用		来る だけ	IIIグループ
サ行変格活用		する、勉強するなど	
*日本人は「ない」を付けるとどうなるかが、すぐに分かるからどの活用形かはすぐに分かる。 例えば「書く」に「ない」を付けると「書かない」とすぐに分かるから、これが五段活用と分かる。 しかし日本語を使ってない外国人には「ない」を付けたらどのように変化するかが分からないから この方法だけでは分類の仕方が説明できない。 (実際にI、II、IIIグループの分類のやり方を教えるのは難しいです。)			

動詞のグループ分けの教え方はいろいろありますが、参考に一つのやり方を説明します。  
通常、動詞は「ます形」を先に習うので「ます形」で分類します。

IIIグループ	来ます		
(2つだけ)	します	他に「名詞+します」の複合単語がたくさんあり	「散歩します」など
IIグループ	「ます形」の最後の音が「え」になる動詞	たくさんあり	「食べます」など
	「ます形」の最後の音が「い」になる動詞	初級レベルで9つ	「起きます」など
Iグループ	「ます形」の最後の音が「い」になる動詞	非常にたくさんある	「買います」など

この方法だと、「ます形」の最後の音が「い」になるIIグループの動詞9つを覚えれば、  
ほぼ3つのグループ分けが出来るということです。  
グループに分けた結果は「動詞のグループ分け」の資料をご覧ください。

日本語を使って来なかった外国人が日本に来て話す時は、やはり丁寧に話してコミュニティーに溶け込むようにします。ですから最初に動詞を習う時は丁寧な「ます形」から始めます。  
(最近、 教え方の順序を変えようという動きがあります)

その次は会話などでも一番使用頻度の高い「て形」です。  
「ます形」から「て形」に変換する時、Iグループの動詞では音便があるので、そこが大変難しい所です。

- X 夜寝るときはパジャマを着てください。
- X ナイフでリングを切て下さい。
- X 昨日映画を見て来ました。

動詞のグループ分けと「て形」の作り方がしっかり身に付かないと、日本人には考えられないようなこのような誤った表現になってしまいます。

「て形」における音便は、会話では少くも間違えても意味が分かればよいので委縮しないようどしどしと話させた方がいいと思いますが、試験では間違えてはいけませんので覚え方のコツがあり、それは別途説明します。(て形の資料参照 て形の歌)

動詞の活用表

番号は「みんなの日本語」で学習する順序

学校文法では		これらが音便						日本語文法では	学習する順序
		未然	連用	終止	連体	假定	命令	辞書形 命令形	4
五段活用	書く	か こ	き ①	く	く	け	け	普通形	6
	飛ぶ	ば ぼ	び ②	ぶ	ぶ	べ	べ		
	切る	(ら) ろ	り ③	る	る	れ	れ		
上一段活用	起きる	き	き	きる	きる	きれ	きろ きよ		
	似る	に	に	にる	にる	にれ	にろ によ		
下一段活用	混ぜる	ぜ	ぜ	ぜる	ぜる	ぜれ	ぜよ ぜろ		
	寝る	ね	ね	ねる	ねる	ねれ	ねろ ねよ		
力行変格活用	来る	こ	き	くる	くる	くれ	こい		
サ行変格活用	する	し	し	する	する	すれ	しろ せよ		
下接する語									
								ます形	1
								て形	2
	「ない」							ない形	3
	「た」							た形	5
	「なかった」								
						「ば」		ば形	
	「う」「よう」							意向形	

日本語教育では（か、き、く、く、け、け）などの活用は教えません。「ます形」「て形」「ない形」などの形で教えます。

「ない形」を学習した後は「ない」を付けた時にどうなるかで動詞をグループ分けした方が簡単なので、その方法を教えてもいいと思います。

以上